

西光寺だより

第二十六号 平成二十四年十月一日発行

秋風が心地よく通りすぎる季節となりました。実りの秋といわれているように、この時期には美味しい食べ物がたくさん収穫できます。

稲穂は黄金に色づき、柿や栗、葡萄や梨など果実も美味しく実ってきます。きのこやお芋などのお野菜も、サンマや鮭などのお魚も旬の味ですね。

わたくしたちも毎年、秋の味覚を美味しくいただきます。美味しいものをいただくと、本当に幸せな気持ちになりますね。そして、美味しくいただけるということもまた、ありがたいことだと思います。

食欲の秋ともいわれ食べ過ぎを気にする方もいらっしゃると思いますが、人間を含めた動物たちは、実りの秋にできた果実などを食べて、冬を乗り越えるエネルギーを蓄えるようになっていくそうです。

夏、たつぷりの太陽の光のもとでたつぷり養分を貯めて、秋に実って冬を耐え忍び、春に芽を出して花を咲かせて受粉する。日本の四季のそういうサイクルの中で、わたくしたちもその実りの秋にできた食べ物食べて、冬を耐え忍ぶようにできていくわけです。

植物も動物も、そしてわたくしたち人間もそれは同じなのです。

たくさん栄養を蓄えてくれた植物たちをいただくことに感謝して、丹精こめて育てて下さった方々に感謝いたします。そして、毎日わたくしたちが食しているものは月日を経たどり着いたものであることを確かめながら、改めて多くのいのちをいただいで生かされていることを知っておきたいと思えます。

「多くのいのちと、みなさまのおかげにより、このごちそうをめぐられました。

深くご恩を喜び、ありがとうございました。」(食前のことば)

「尊いおめぐみをおいしくいただき、ますます御恩報謝につとめます。

おかげでごちそうさまでした。」(食後のことば)

◆十一月の行事◆

・十一月二十三日(日) 西光寺報恩講法要

午後二時・午後七時 西光寺本堂

◎御法話 本願寺派布教使 和氣 秀剛 師

(奈良県・圓光寺)

●今月のことば

『本願寺念仏奉仕団』

例年の茨木東組の恒例行事であります茨木東組念仏奉仕団が、毎年十二月に行われています。

この念仏奉仕団の行事は、本願寺への清掃奉仕を通して、愛山護法の念を深め、宗祖親鸞聖人のみ教えに学ぶとともに、仏恩報謝の生活に生かされる浄土真宗の門徒としての生き方を改めて振りかえる場として実施されています。

今年も十二月三日(月)～四日(火)の一泊二日で行われます。宿泊先は本願寺隣にある京都東急ホテルでございます。今までは念仏奉仕団についてこのように説明する機会がありませんでしたが、西光寺だよりを通して知って頂き、共に参加できたらと思いい書かせていた

きました。

今年で二十四回目となる茨木東組念仏奉仕団は茨木東組十八ヶ寺のお寺さんとそのご門徒の方々約八十名で本願寺の清掃奉仕を致します。詳しい日程などは申込用紙に記載されていますが、本願寺内の清掃をはじめ、御門主様との記念撮影、東急ホテルでの懇親会、朝六時から辰朝参拝、国宝の書院・飛雲閣参観、法話など様々な本願寺でしか味わえない時間を皆様と一緒に味わえたらと思っています。

費用はお一人様一五〇〇円、締切は十月三十一日でございます。また申込み・詳細は西光寺までご連絡ください。

一年に一度のこの清掃や参拝を通して、世界遺産や国宝に指定されている本願寺や親鸞聖人を身近に感じて頂けたらと思っています。



国宝 対面所



国宝 飛雲閣

◆先月の報告◆

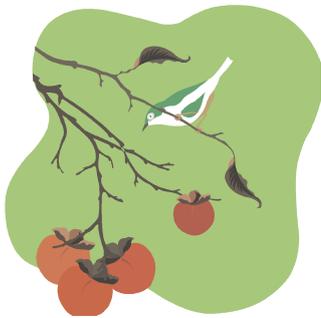
①九月十三日(木) 例年のように大谷本廟に集合し皆さんで墓参いしました。およそ三十五名の方々とともに無量寿堂で讚佛偈のお勤め・お焼香をし、大谷本廟墓地では重誓偈のお勤めをさせていただきました。お天気も良く暑いぐらいの気候でしたが、皆さんと一緒にこ

うしてお参りができることを特別に感じながらの時間でした。皆様お疲れ様でした。そしてお役の方いつも御協力ありがとうございました。

②九月二十三日(日) 西光寺本堂にて午後一時より仏教婦人会報恩講法要を厳修致しました。およそ三十人の方々と正信偈・行譜のお勤めをし、その後正信偈の唱え方を皆さんと練習いたしました。正信偈には真譜・草譜・行譜の三種ある説明から、拍をとりながら息継ぎの場所、上がる所・下がる所など説明させていただきました。およそ一時間弱の間でなかなか難しかったとは思いますが、皆さん熱心に耳を傾けて頂きました。ご参加ありがとうございました。

③九月二十九日(土) 西光寺本堂にて秋季永代経法要を厳修致しました。およそ四十名の方々が参詣され故人を偲ぶと共に私たち自身が仏法聴聞を重ねていく大切なご縁としてお勤めさせていただきました。午後二時から仏説阿弥陀経、午後七時から正信偈・行譜のお勤めをいたしました。そして本願寺派布教使 宮部雅文師よりご法話をいただきました。お浄土の世界・お釈迦様のお話などを語りかけるような優しい口調でわかりやすくお話しして頂きありがとうございました。年齢も私と同じということで休憩時間など様々なお話をさせていただきました。改めてご縁の素晴らしさを感じたひと時でありました。

合掌



浄土真宗本願寺派 白毫山 西光寺

大阪府茨木市西河原一七二

電話 〇七二一六二一四七九四

FAX 〇七二一六二一九二九一

<http://www.osaka-saikouji.net/>